ZEH（ゼッチ）マンションに向けた野村不動産の取り組み

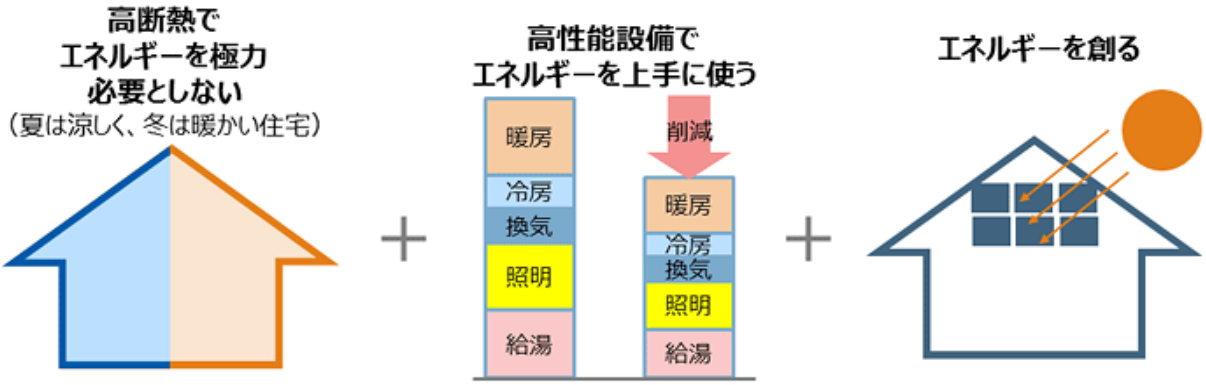
野村不動産グループは、先進環境技術や情報通信技術の導入、自然との共生による生物多様性への配慮、パッシブデザインや創エネルギーなど、事業を通じた環境負荷低減に努めております。
「ZEH-M Oriented」につきましては、2019 年度のプラウドタワー梅田豊崎（超高層 ZEH-M 実証事業）およびプラウド高田馬場（高層 ZEH-M 支援事業）の採択以降、毎年導入に取り組み、ZEH 水準の性能に寄与する設備・仕様の検証や、ZEH 水準の住宅がもたらす快適性や健康への影響についての調査を実施してまいりました。
それらのノウハウをもとに、2023 年度以降は、原則、着工予定の全分譲マンション（一部再開発、建替物件等を除く）への「ZEH-M Oriented」以上での設計を進めており、さらなる断熱性能の向上や高効率機器の導入など環境負荷軽減に貢献していく方針です。

当社の環境への取り組み（サステナビリティレポート）
https://www.nomura-re-hd.co.jp/sustainability/environment/

«参考資料»

1．ZEH（ゼッチ）（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは

ZEH（ゼッチ）（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは、「外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとすることを目指した住宅」です。



〇資源エネルギー庁ホームページ
http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/zeh/

2．ZEH-M oriented とは

高層（6 階建以上）マンションでは、太陽光発電の設置に活用できる屋根面積が限られており、ZEH の基準をクリアすることは非常に困難です。
そこで、まずは、ZEH 志向型の集合住宅の普及に向け、太陽光発電等の再生可能エネルギー設備の搭載などの創エネをのぞく、高断熱外皮や省エネ性能で ZEH 基準を満たした住宅について、2018 年度よりあらたに定められた制度が「ZEH-M oriented」になります。